

自閉症総合援助センター 萌葱の郷

ASSIST



～芽吹く未来へ～



ECOAL

Enterprising center for developmental disorders

大分発達障がい情報交流センター 助成 社会福祉法人 清水基金

◆大分県発達障がい者支援センター ECOAL

イコールは、平成17年2月に大分県の委託事業として開設され、発達障がい児・者の総合的な支援を行う支援センターとして、ご本人やご家族、支援者の相談を受けながら、大分県における発達障がい児・者の支援体制の整備を図り、発達障がい児・者が充実した生活を送れることを目指し、支援をしています。

現在、地域の支援力を高める研修や、早期発見・早期療育のための研修などを行いながら、地域資源との連携・支援力の向上を目指し、よりよい支援を提供していきたいと考えています。

2015.4.1 発行

VOL.8



「東田直樹さんに学ぶ」

理事長 五十嵐 康郎

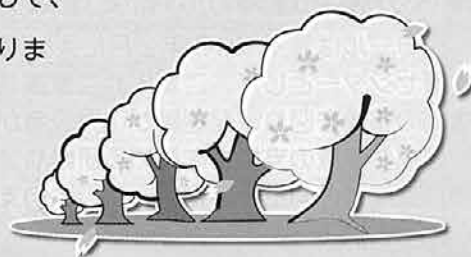
(全国自閉症者施設協議会会長・日本自閉症協会副会長)

NHKの「君が僕に教えてくれたこと」という放送を見たことをきっかけに東田直樹さんの本を読ませていただきました。その中に、自閉症支援や療育の真髓に関わる、非常に貴重なエッセンスがあります。「人に迷惑をかけるこだわりは何とかしてやめさせてください」「我慢することは苦しくて大変ですが、その時に必要なのは周りにいる人の忍耐強い指導と愛情でしょう」さらに「僕たちの気持ちに共感しながら止めてほしいのです」これはめぶき園の考え方と共通するものです。東田さんの本を読んで、私は共感し、めぶき園で取り組んできたことに確信を持ちました。

「自分のすべてを受け止めてもらえる体験をすることが、大切だと思うのです。受け止めてくれる人が一人いれば、自分を見失わずに生きていけるのではないのでしょうか」東田さんは、一人でも本当に自分を理解し、愛してくれる人がいれば、自信を持って生きられると書いているのです。やはり支援者たるものそういう思いを持って彼らと関わるべきではないのでしょうか。そして「もし自閉症が治る薬が開発されたとしても、僕はこのままの自分を選ぶかもしれません。障害のあるなしに関わらず、努力の結果幸せになることがわかったからです」とも書いています。最高の自己肯定感です。これは深い愛情を持って育てられたお母さんの力が非常に大きいと思います。障害は違いますが、乙武さんのお母さんも非常に深い愛情をもって乙武さんを育てました。乙武さんが生まれた時にドクターは重い障害のある赤ちゃんをお母さんに合わせることを躊躇するわけですが、何日か過ぎてお母さんに対面させました。その時お母さんは「まあ、可愛い」と言って抱きあげました。まさに感動です。

私はこういう愛情こそが最も重要であり、自閉症の方一人ひとりに私たちが関わっていくときの重要な視点ではないかと思えます。「大好きだと伝えてください、大切なのは一人でもいいので、どれくらい深く愛されたかだと思います」これは先ほどのこととも共通するのですが、要するに、大好きだよと、そういう風に伝えてほしい、そのことがポジティブに生きていく上において非常に大きな力になるということです。

「療育で傷つく子どももいます。親や先生にとってやってみた療育が、その子に合わない判断するのは、勇気があることですが、本人に合った療育かどうかを見極めることは重要です。そこが支援者の力量だと思うのです」これを中学・高校生ぐらいの年代の自閉症の青年が書いたのです。素晴らしいと思いました。感動しました。そして「専門職も迷いながら対応していることを知りました。全ての対応がマニュアル化されたなら、僕は人生に失望するでしょう」感動して、涙があふれました。まだ他にも宝石のような価値のある言葉があります。読まれていない方は是非お読みになる事をお勧めします。



発達障害支援スーパーバイザー養成研修

事務局 近藤 暢秀

大分県では平成18年度から、医療、教育、福祉、療育に関わる専門家による講義、関係諸機関の視察、自閉症施設や早期療育施設での実務研修などを3年間で履修する「発達障がい者支援専門員養成研修」を、発達障がい者支援センターECOALを事務局として実施してきました。平成25年度末までに、すでに142名が修了し、修了者を「発達障がい支援専門員」として認定しています。修了者は医療、福祉、保健、行政等広範囲にわたり、発達障害への理解や専門性の向上のみならず、関係諸機関の連携にも大きな役割を果たしています。

この事業は、関係諸機関から高い評価を受け、自閉症理解と専門性の向上、さらには関係諸機関のネットワーク構築にも有効であることから、発達障害者支援センターの事業として全国で実施することを目指してきましたが、医療、教育、福祉、保健等の連携体制が必ずしも十分に取れていないこと、実務研修の受け皿等の課題から実現しませんでした。

そこで今年度、発達障害に関わる主要な団体である一般社団法人日本自閉症協会、全国自閉症者施設協議会が主催し、一般社団法人日本発達障害者ネットワーク、日本自閉症スペクトラム学会、発達障害者支援センター全国連絡協議会の後援・協力を得て日本財団の助成事業として実施することで、全国での実施への道を切り開こうと考えて、「発達障害支援スーパーバイザー養成研修」をスタートさせました。その事務局を全国自閉症者施設協議会の事務局であるめぶき園が担うこととなりました。

研修の内容としては、集合研修での3日間16コマ程度の講義が前後期の2回、5日間の実務研修及び講義を2施設、当事者活動の参加を3回以上と、1年間で合計20日間近い日程をこなして、旅費や宿泊費などの経費が行き先にもよりますが、20～30万かかります。さらに、今年度は募集期間が短く広報の範囲が限られたことから、定員50名の受講者が集まるかが不安でしたが、最終的には定員を大きく超える96名の応募者が全国からありました。日程的にも金銭的にも大きな負担を覚悟して応募してこられた方々のお気持ちを大切にしたいと思い、実務研修受け入れ法人を15か所に増やし、見通しが立ったことから応募者全員の受講を決定し、平成26年7月18日に前期集合研修がスタートしました。前期集合研修の受講者にアンケートをとったところ、全ての講義で「大変参考になった」「参考になった」を合わせて90%を越え、

自由記述では、「初めてふれる理論や技法もあり、広い視野から学ぶことができた」などの意見が多数あり、幅広い分野の第一線で活躍される講師の先生方の研修に学ぶことが大きかったことがうかがえました。

前期集合研修終了後から、順次、全国の受け入れ施設で実務研修がスタートし、1月にはすべての施設の実務研修が終了し、現在まで続々と研修報告が事務局の方に届いています。膨大な量で事務局も整理が追いつかない状態ですが、報告書には受講者の方のレベルの高さと熱い思いがあふれており、今後の活動への情熱と責任感が伺えるものばかりで、事務局としても実施してよかったと確信しております。

萌葱の郷でも受け入れ施設として、4期16名を受け入れましたが、全国の施設で柱となるような方の受け入れは現場の方も非常にプレッシャーを感じるころではありますが、こちら側も非常に勉強になるところが多かったと思います。

後期集合研修が3月に開催され、これで1年目の研修は全て終了します。事務局としては、1年目で試行錯誤しながらの取り組みで受講者の皆さんには迷惑をかけることがあったと思いますが、将来へつながる大きな第1歩を踏み出せたと思います。

オールジャパンの講師による幅広い講義と実務を学ぶ全国規模の研修は質・量ともかつてないもので、年数を重ねて継続することで研修が充実し、受講者のみならず、実務研修受け入れ施設の方も、発達障害への理解と支援の質が向上し、そのことを通して地域の支援力や連携が深まることは間違いありません。

この画期的な取り組みを今後ずっと続けていけるよう、事務局としても努力していきますので、関係機関の皆様のご協力をお願いしたいと思っております。どうぞよろしく願い致します。



発達障がい者支援センターとは？

発達障がい者支援センターは、厚生労働省より定められた発達障がい児（者）への支援を総合的に行なうことを目的とした専門的機関です。発達障がい児（者）とその家族が豊かな地域生活を送れるように、保健、医療、福祉、教育、労働などの関係機関と連携し、地域における総合的な支援ネットワークを構築しながら、発達障がい児（者）とその家族からのさまざまな相談に応じ、支援を行なっています。



どんなことをしているの？

発達障がい者支援センターでは、相談支援・発達支援・就労支援・普及啓発の大きく4つの支援を行います。

◆相談支援

ご本人・ご家族・支援者が抱える発達障がいに関する悩み、支援に関する情報の提供、各専門機関との関係調整を行ないます。

◆発達支援

当事者会を中心に、ソーシャルスキルの習得や余暇の支援を行います。

◆就労支援

学校や就労機関等との連携、障がい特性や就業適性に関する助言、作業工程や環境の調整を行ないます。

◆普及・啓発

関係機関での研修講師、障がい特性や支援情報の説明等を行ないます。また、発達支援ファイル等の支援ツールの開発や、支援ネットワークの構築の為に専門家の養成を行なっています。



相談ができる方

大分県内にお住まいの発達障がいを有する方・もしくはその疑いのある方と、その家族や支援に関わる方々が利用できます。お子さんから大人の方まで対象です。

相談予約

受付は、月曜日から金曜日：午前10時～午後5時となっております。相談料金はかかりません。基本的に相談は予約制となっておりますので、まずはお電話下さい☎

◆ 連絡先 ◆

TEL: 097-586-8080 / FAX: 097-586-8181
e-mail: ecoal@moeginosato.net

▷ 大分県保育コーディネーター養成研修事業 ◁

大分県は子育て満足日本一を目指しており、平成26年度からは新たに保育コーディネーターを養成する取り組みをスタートしました。

【目的】 保育所（園）及び認定こども園において、特別な配慮が必要な児童や家庭に応じた専門的な支援を行うとともに、関係機関と連携して適切な時期に適切な支援に繋げる人材を養成し、大分県内の地域に根ざした子育て支援体制を整える。

【実施主体】 大分県、大分県保育連合会

【定員】 80名（6圏域）

【保育コーディネーター運営委員会】 大分県保育連合会、大分県ホームスタート、大分県発達障がい者支援センターECOAL、大分県教育委員会、東九州短期大学、大分県臨床心理士会、別府大学短期大学保育科、児童発達支援センターひばり園、大分県教育庁特別支援教育課、大分県福祉保健部障害福祉課、中央児童相談所、大分県こども子育て支援課

◆ 研修スケジュール ◆

	内容	研修講師（研修先）
第1日	「保育コーディネーター養成研修について」 「保育所に求められる役割と期待」 「要保護児童Ⅰ・Ⅱ 要保護児童を取り巻く状況について」	県こども子育て支援課 県保育連合会 中央児童相談所
第2日	「視察研修Ⅰ（要保護児童）」 「初期対応から要保護児童対策地域協議会へ」	児童養護施設等、または一時保護所 中央児童相談所
第3日	「子育て支援サービスについて」 「障がい児支援Ⅰ（療育）」 「相談援助技術Ⅰ・Ⅱ」	県こども子育て支援課・県障害福祉課 児童発達支援センター 県臨床心理士会
第4日	「視察研修Ⅱ（地域における子育て支援について）」 「視察研修Ⅲ（特別支援学校）」 「障がい児支援Ⅱ（特別支援教育）」	地域子育て支援拠点等 特別支援学校 特別支援学校
第5日	「視察研修Ⅳ（障がい児支援）」 「障がい児支援Ⅳ・Ⅴ」	児童発達支援センター 県発達障がい者支援センター
第6日	「家庭支援論」 「相談援助技術Ⅲ」 「保育コーディネーターに期待すること」 「認定証授与式」	東九州短期大学 県保育連合会 県保育連合会 大分県

平成26年度 保育コーディネーター
知事認定試験通過者・・・85人

平成26～28年 保育コーディネーター養成計画

平成26年度・・・80名

平成27年度・・・80名

平成28年度・・・80名

合計 240名



【わたしの療育論】

家族

めぶき園 主任看護師
首藤 千鶴代

めぶき園に勤め始めて早19年。利用者の方と過ごした時間は家族と関わった時間より長く、密になっているかもしれない。それほど私の中では、めぶき園や利用者の存在は大きく、沢山のことを学ばせてもらい、そして人間として成長させてくれたと思っています。

勤め始めた頃、職員も少なく看護師という立場であるため、一人で通院することも多く、受診に不安を抱えていたと思われる利用者の方が、待合室から突然走り出し外に出て行ったことがあります。道路を横切った時には、生きた心地がしませんでした。また、通院の走行中、車の窓ガラスを割ったり等、苦勞したこと、大変な思いをしたこと、数えれば切りがありません。その都度、穏やかに話をしながら落ち着かせたり時には叱ったりしながらの積み重ねが利用者との関係を築いていったのだと思っています。特に看護・医療の場面では、絶対に利用者に譲ることのできない場面が多々あります。時には抑制しながら処置しなければならぬ中で、きつと利用者の方は「誰か、助けて〜」という気持ちでいっぱいなんだと思うのです。その

時私は、「これがあなたを助けることになるのよ」という思いで接してきました。不安を取り除けそうなる時には説明をして、少しでも気持ちをお楽にさせ見通しがつけられるように、また頑張った時には大いに褒めるということを大事にしました。

また、支援の中では家庭内での父親や母親といったメリハリのある役割を自分自身でもまた他の支援員の協力を得ながらやってきました。この積み重ねが、今の利用者との関係性に大きく関わっていると思います。

定年まで残り6年、ゴールが少し見えてきた中で、社会福祉法人萌葱の郷という大きな「家族」の中で利用者の健康と安全を守りつつ、私の役割を全うしていきたいと思っています。保護者のみなさま、これから御協力よろしくお願い致します。



平成 26 年度 社会福祉法人萌葱の郷 研修委員会 年間活動報告

月	日 時	開催研修	内容・演題	講 師	内/外	会 場
4月	6日(日) 9:00~12:00	なごみ園研修	なごみ園の基本理念と職員に求められること	なごみ園 支援課長 秋月 正博氏	内	なごみ園
5月						
6月	13日(金)	◆第1回研修委員会	顔合わせおよび今後について			イコール2階
7月	4日(金)	初級研修①	「自閉症療育におけるコベルニクスの転回」	萌葱の郷 理事長 五十嵐 康郎氏	内	訓練棟
8月						
9月	8日(月) 18:30~20:30	◆第2回研修委員会	各研修について			イコール2階
	10日(水)	初級研修②	「新人職員に伝えたいこと」	めぶき園 支援課長 丹生 朱美氏	内	訓練棟
	14日(日) 14:00~15:30	大分なごみ研修	「音楽療法がもたらす効果」	NPO 法人大分音楽療法研究会 会長 児玉典子氏	外	大分なごみ園
10月	20日(月) 18:30~20:30	◆第3回研修委員会	各研修について			イコール2階
	28日(火) 18:30~	らすかる研修	「強度行動障害支援者養成研修(伝達講習)」	らすかる 支援係長 倉川 正和氏	内	訓練棟
11月	7日(金)	一般研修	「発達障がい児者への臨床動作法の適用と効果」	からだの教室 Laugh 阿部京子氏	外	犬飼公民館
	17日(月) 15:30~17:30	どんこの里研修	「食品表示に関わるルールについて」	豊肥保健所職員3名	外	どんこの里
	19日(水) 18:30~	中堅研修①	「各事業所の人材育成の取り組みについて」	どんこの里 支援課長 野上 悦生氏 ケアホームかわしま 支援課長 原田 竜二氏 なごみ園 支援課長 秋月 正博氏	内	訓練棟
	28日(金) 18:30~	初級研修③	「接遇マナーについて」	事務長 近藤 暢秀氏	内	訓練棟
12月	9日(火) 18:30~	中堅研修②	「各事業所の人材育成の取り組みについて」	いぬかい保育園 園長 五十嵐 猛氏 らすかる 支援係長 倉川 正和氏	内	訓練棟
	13日(土) 13:00~	イコール研修	「地方都市における、発達障がい児の早期発見・早期療育のしくみ作り-ライフステージを意識した行政の取り組み-」	浜松市発達障害者支援センターヒロ 内山敏氏	外	コンバルホール
	16日(火) 18:30~	めぶき園研修	「臨床動作法実技研修」	からだの教室 Laugh 阿部京子氏	外	犬飼公民館
1月	22日(水) 18:30~	中堅研修③	「各事業所の人材育成の取り組みについて」	イコール 支援課長 佐藤 任孝氏 めぶき園 支援課長 丹生 朱美氏 大分なごみ園 支援課長 福田 和彦氏	内	訓練棟
	27日(火) 18:30~20:30	◆第4回研修委員会	次年度について	からだの教室 Laugh 阿部京子氏	内	イコール2階
2月	22日(日) 9:30~16:30	なごみ研修	ゴードン博士のコミュニケーション講座	親業訓練インストラクター 竹長 イツ子氏	外	なごみ園
	28日(土) 13:30~	いぬかい保育園研修	「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」 および認定こども園視察(3園)	いぬかい保育園 主任保育士 平岡 千枝氏	内	いぬかい保育園
3月						

conversation with めぶき園 支援係長 後藤 伸二

A：今日はよろしくお願ひします。

後：よろしくお願ひします。

A：初めに福祉の道に進んだ理由を聞かせてください。

後：臨床心理学科のある大学に行ったので、元々は臨床心理士になりたかった。中学、高校でスクールカウンセラーの人を見て、僕もそういう人になりたいと。でも心理のことだけじゃなくて、福祉大学だったから福祉のことも色々学ぶ機会が多くて、昔でいう養護学校とか施設にも実習に行ったんだけど、現場で直接的な支援をすることに興味というか、楽しみとかやりがいを感じて、それで最初は知的障害者の入所施設に就職しました。

A：最初から萌葱の郷ではなかったんですね。心理学というと例えばどんなことを？

後：心理学にもいろんな分野があって、僕は特に発達心理学に興味があったかな。

A：発達心理学は僕もちょうど本を読んでいます（笑）発達心理学のどんなところに興味を？

後：人間が発達していく段階の細かい、何期、何期とか、そういうのが学んで面白かった。「なるほど」って腑に落ちる点が多かったというか。

A：僕も今そういう経験をしています（笑）自閉症の方との出会いみたいなものはありますか？

後：就職して2年目に主に自閉症の方が所属している班に異動になって、その班には21歳の利用者の方がいたんだけど、その方はある程度話もできるし計算もできる。でもすごく他害が多かったり、パニックが多かったりして、自閉症っていうのは聞いてたけど、直接関わるのは初めてだったし、すごく難しかった。会話はできるけどやっぱりうまくいかない。それが2年目でした。

A：そうですね。難しいですね。

後：その班には2年間いたんだけどずっとその子の担当で、こうなってほしいとかの像はあるけど、なかなかうまくいくような支援が提供できなくて悩んだりもしてた。でも2年間その人と関わって、やっとひとつだけうまくいったことがあった。その方はお母さんに対する他害が多くて、お母さんもそれが怖くてなかなか家に帰れなかった。施設でも他害はあったけど、だんだん落ち着いてきたから家に帰ることになって。お母さんもすごく心配してたけど、施設でこんなにも落ちついてるから、家でも大丈夫って。結局家に帰って、お母さん1回も叩かれなかった。それどころか、ケアホームを目標に思ってたから宿泊体験をその子にしてもらってたんだけど、物を片付けたり洗濯したりとか、そういう支援をしてる中で、その子が家に帰った時に食べたごはんの食器を片付けことがお母さんすごく嬉しかったらしく。2年間いろいろしてくれて、これだけ落ち着いて、できることも増えて、すごく良かったって。お母さんがそう言って、本人も満足そうだった。だから伝え方もだけど、時間をかけてゆっくり伝えていくことで共感できることがすごく僕にも嬉しくて、すごくやりがいがあるなと思った。そこから特に自閉症の方にはフォーカスというか、関わっていく中で楽しいなと。それが自閉症の方との出会いです。



話し手：後藤 伸二 (=後)

聞き手：A

A：そこからなぜ萌葱の郷に転職を？

後：大分に帰ることになって、自閉症の方にも興味があったし、次の職場も入所の施設で働こうと思ってた。だから自閉症の方の支援に力を入れているところで働きたいと思って、就職合同フェアみたいなのところに行ってパンフレットを見てたら萌葱の郷があって、「あ、ここだ」ともう直感で。合同説明会には行ったけど萌葱の郷だけ話を聞いて、できれば働きたいと伝えて、それで就職しました。

A：仕事をするうえで大切にしていることはありますか？

後：とりあえず笑顔かな。メリハリはつけるけど、人を叩いたり物を壊したりする以外で、状態が悪くなって落ち着かないとか、自分の中で納得できないとか、不安定になったりとかっていう方に対してはやっぱり笑顔で接するようにしてる。あとは本人が自分で行動を起こしたり、自分で考えて動けるように、〇〇したらどう？とか提案をして、本人主体でやってもらうようにしてます。

A：係長になられて心境や環境に変化はありましたか？

後：見える視野というか角度が主任とか一般職とは違ってきて、目の前の仕事も大切だけど、自分の仕事だけでなく、法人とか他の事業所とか、それぞれがどういう風に向かっていくのかっていうのも踏まえて考えていかないといけないのかなっていうのが、この1年間係長をしてみte思ったことかな。特に責任感っていうのはあるね。上司とまではいかないけど役職がついてるのに、適当にしてたりとか怠けたりとかっていうのは見せれないと思うので。

A：最後になりますけど... この仕事のやりがいは何だと思いますか？

後：感謝されたり、本人が得意気な顔をするようになったりとかってっていうのは正直嬉しいよね。仕事をして、その対価がお金以外で戻ってくる。それが笑顔だったり、おこがましいけど感謝だったり、そういうのでもすごく満たされる部分は大きいと思う。お金以外の対価を日々もらえる。やっぱりそこが一番のやりがいかな。毎日利用者さんと関われるから、よく利用者さんを見ていけば変化もあるし、その対価をまとめてじゃなくて、1日1日細かく、日頃からもらえるっていうのもいいんじゃないかな。

A：「日頃からもらえる」って意識したことなかったです。それもやりがいのひとつなんですね。今日はありがとうございました。



豊後大野市



障害者支援施設 めぶき園(法人本部)
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
 TEL097-578-0818
 FAX097-578-0819
 mebukien@moeginosato.net
ホームヘルプサービスセンター らすかる
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
 TEL097-578-1888
 FAX097-578-0819
 rasukaru@moeginosato.net
相談支援事業所 プラス
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
 TEL097-578-0818
 FAX097-578-0819



こども才能支援センター なごみ
 大分県豊後大野市犬飼町大塚2149番地1
 TEL097-586-8070
 FAX097-586-8071
 nagomi@moeginosato.net

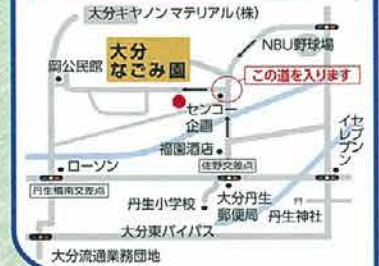


障害福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい
 大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
 TEL097-578-0077
 FAX097-578-1226
 donko@moeginosato.net

大分市



こども発達支援センター 大分なごみ園
 大分県大分市丹生210-3
 TEL097-524-3636
 FAX097-524-3637
 oita.nagomien@gmail.com



萌葱の郷 ロードマップ



いぬかいこども園(いぬかい子育て支援センター)
 大分県豊後大野市犬飼町田原1419番地
 TEL097-578-0706
 FAX097-578-0710
 inukai-hoikuen@moeginosato.net



ケアホーム かわしま
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾3709-8
 TEL097-578-0885



大分県発達障がい者支援センター ECOAL
 大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
 TEL097-586-8080
 FAX097-586-8181
 ecoal@moeginosato.net

平成26年度 社会福祉法人萌葱の郷 めぶき園後援会

柿坂 重治様・仲間 克之様・佐藤 テル子様
 徳丸 展子様・大多和 佳子様・山田 直記様
 塩野 纈様・矢野 丞様・山田 政之様・岡本 保博様
 岡本 崇様・武井 清展様・衛藤 政治様・上杉 哲夫様
 薬師神 孝次様・西原 廣紀様・足立 義信様
 河野 勝征様・松田 邦博様・赤迫 三枝子様
 堀 美佐子様・後藤 豊春様・安東 幸一様
 高橋 久美子様・堀 修一様・濱内 優誠様 河野 京次様
 下川 禎子様・山本 五十六様・秦 鉄也様
 村上 一文様・阿南 吉充様・岩崎 英一郎様
 薬師寺 幸子様・野田 フサ子様・花宮 憲央様
 田北 晃明様・姫野 元春様・一井 浩美様・西尾 武様
 中野 正三様・安田 唯康様・川久保 九州男様
 大分県自閉症協会様
 (順不同 平成27年3月現在)

協力者御芳名

中村 和美様・秦 正也様・伊美 信長様
 人生楽しくふれあいチャリティーショー様
 大分県農業共済組合中西部支所
 女性部「リベルテ」大分支部様
 高橋歯科医院様

編集後記

窓越しからの暖かい陽射しが心地よくなり、春の訪れと共に平成27年度の「ASSIST Vol.8」を発刊することができました。春といえば新年度の慌ただしいイメージもありますが、新しいことが始まる感じがあり、なんだかワクワクしませんか。当法人の保育園も4月から幼保連携型の「こども園」と変わり、新しい出会いを楽しみにしています。本年度も編集委員一同、新たな気持ちで頑張っていきたいと思います。

